

こども未来部 保育園

第1 監査の概要

1 監査の種類 定期監査（財務監査・行政監査）

2 監査の対象

監査対象部局 こども未来部 保育園

対象年度 令和元年度

監査対象事項 財務事務等

3 監査等の実施場所及び監査期間

実施場所 各保育園

監査期間 令和2年10月29日

4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

第2 監査対象の概要

・市立保育園23園のうち、次の5園の監査を行った。

四郷保育園、あがた保育園、羽津保育園、下野中央保育園、くす北保育園

（くす北保育園は書面監査）

第3 監査の着眼点

1 想定されるリスクからの着眼点

事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。

(1) リスク評価チェックリストの検証

(2) 出先機関のリスク（マネジメントの目が行き届かない）

(3) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

(4) 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

(5) 新規採用職員の不安解消についてのリスク

(6) 多様化する課題に対する保護者支援についてのリスク

2 3E（経済性、有効性、効率性）・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、有効性、効率性の視点等から設定した。

第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行に当たっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

(1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査ではリスクは低いと考えられたが、財務会計事務、文書事務などの事務一般について、一定数の不備が散見された。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
所属の主要な事務事業	事業を行っているか	効果の少ない事業が実施されるリスク	4/4	
収入事務	地方税、分担金、使用料、手数料等を徴収する業務を行っているか	法令等に基づいた金額を徴収していないリスク 減免の制度又は運用が適切でないリスク 収入未済となるリスク 収入未済が適正に処理されないリスク	4/12	○
支出事務	歳出予算（報酬、給料、職員手当等及び共済費、恩給及び退職年金費、賃金を除く。）の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	2/12	○
現金管理	現金の取扱いがあるか	現金の紛失、数え間違い、処理遅れ、着服等のリスク	4/8	
財産管理	建物やインフラを所管しているか	保全不良のリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用されないリスク	4/4	
情報管理	個人情報を扱っているか	個人情報の漏えいや目的外使用、データの改ざん、滅失等のリスク	4/4	
組織・人員	多くの時間外勤務を行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク	4/4	○

(2) 出先機関のリスク（マネジメントの目が行き届かない）

- ・ 保育業務の合間に書類作成、書類の確認作業等の事務処理を行う必要があり、さらに、出先機関であることから、事務上の不備が生じやすいのではないかと。保育幼稚園課の

チェックは行き届いているか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- × 支出負担行為兼支出命令書等財務関係書類は保育幼稚園課の決裁を受けるものの、修正等で保育園と保育幼稚園課との間のやりとりに時間がかかることもあり、保育園によっては支払遅延が散見されるところがある。

指 摘

【共通事項】

支払遅延は、法が遵守されていないこととなり、市の信頼が失墜するリスクになる。出先機関であるので決裁等に時間を要する可能性があることも念頭に、速やかに処理を行うこと。

（３）職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ・ ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の職員の働き方の改善がなされているか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- × 全ての保育園ではないが、年間360時間を超える時間外勤務を行っている職員が見受けられる。職員の健康の維持やワーク・ライフ・バランスの実現のため、引き続き勤務時間管理の適正化と職員の意識改革を推進する必要がある。

意 見

【四郷保育園】【あがた保育園】【下野中央保育園】

行政需要の多様化等により、職員一人当たりの事務量が増加の一途をたどっていることから、職員の時間外勤務が恒常化しており時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。職員の時間外勤務の原因を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスを充実するため、働きやすい環境づくりに取り組むとともに、業務の効率化を図るなど時間外勤務適正化に向けた取組みを行うことで時間外勤務の縮減を図り、働き方改革への取組みを進めること。園だけで対応できない事情があるのであれば、保育幼稚園課とも相談して対応すること。

（４）複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

- ・ 正職員も含めさまざまな雇用形態があるので、勤務時間が異なる職員の間での意思疎通、情報共有が難しくなることによって、職員間の連携に支障をきたし、職務の達成度が低下するようなことはないか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- 職員が出勤したら個別に必要事項を伝えたり、ホワイトボードや連絡ノート、回覧等で全職員の出勤状況や、その日の園児数、共有すべき情報を把握できるようにしている。

意見

【共通事項】

職員間の引継ぎや報告・連絡・相談を徹底することで、ひとりひとりの子どもの一日の流れを確実に共有し、エラーが起こらないようにすること。

(5) 新規採用職員の不安解消についてのリスク

- ・ 特に新規採用職員等の経験年数の少ない職員において、多くの問題を抱え込み過ぎることで、心理的な負担等からあらゆる負荷がかかり、心身に影響を及ぼしたり、ひいては離職につながって保育業務が手薄になったりするようなことはないか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- 各研修のほか、保育幼稚園課所属の元園長による園訪問により、園内の職員には話しづらいことも聞く機会を設けている。園内でもヒアリングを行い、自らの保育に自信を持ってもらえるようにフォローアップしている。

意見

【共通事項】

- ① 一方的に指導するだけでなく、その職員に適した方法で、その職員の中にある答えを引き出すコーチングの視点も持った、育成の体制を構築すること。
- ② 経験年数の少ない保育士には特に心を配り、精神的に落ち着けるような指導を心がけること。
- ③ 産育休からの復帰時のフォローアップや目配りも引き続き適切に行うこと。

(6) 多様化する課題に対する保護者支援に関するリスク

- ・ 就学前の不安感、子育て全般についての不安感を抱く保護者は多くおり、ひとり親家庭で一人で悩みを抱えている保護者もいる。また、特に特別支援児の保護者は大きな不安を抱えやすい。課題の多様化の中で、そういった保護者への対応が不十分となっていないか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- 保護者との信頼関係を築くため、毎日の送迎時の保護者とのやりとりを大切にし、その日の子どもの様子を、どんなささいなことであっても何か具体的に伝えるようにしたり、話しやすい雰囲気づくりを意識したりしている。そうすることで、保護者の思いを引き出すことができるように努めている。

また、特別支援児の保護者同士の情報共有の場を持ったり、必要に応じ保護者との個人面談も随時行っている。

2 3 E（経済性、有効性、効率性）からの着眼点に着目して行った監査結果 指 摘

【共通事項】

① 施設の補修について【住民福祉の向上の視点】

修繕のうち、園で執行できない10万円以上の案件については、保育幼稚園課の所管となるが、園からの要望への対応の遅れが目立つ。老朽化したフェンスなど、数年前から保育幼稚園課に補修要望をしているにもかかわらず、依然として未対応となっているものが多数ある。園の安全のため、早急に補修、修繕を行うこと。時計台の時計が止まったままであるといった、安全性には直接関係しない不具合についても、保育環境を整える上で軽視することができないので、予算の確保に努め、速やかに対応すること。

② 事故の防止について【住民福祉の向上の視点】

- ・園の周辺道路との境に埋まっている石は、暗がりではもとより、明るい時間帯であっても、園児にとっても周囲の人にとっても危険である。【四郷保育園】
- ・園庭に残っている小さい切り株や、園庭等のグリーンの数物がずれたりめくれかけたりしていることにより、つまづく可能性がある。【あがた保育園】
- ・倉庫の上段に重いものが置かれており、それを取り出したり収納したりする職員にとっても危険である。【あがた保育園】

上記のような、危険箇所が見受けられた。ヒヤリハットやアクシデントについて、原因をよく検証し、危険が想定される環境は直ちに直視し、保育幼稚園課に対応を要望することを含め、重大な事故が起こらないよう対策を行うとともに、特に経験年数の少ない保育士へ、事故防止の指導を行うこと。

【羽津保育園】

③ 駐車場の安全について【住民福祉の向上の視点】

園児送迎用駐車場について、朝の送迎時の混雑時に職員が誘導を行うなどにより対応しているが、出入り口に接する道路幅が狭いこともあり、送迎の車が数台続いて駐車場に入るような場合に、通行する車が後ろで待つような状況が生じ、トラブルになることもあるとのことである。事故の起こらないよう十分注意するとともに、安全面と送迎車のスムーズな出入りを行うため、早急に対応すること。

意見

【共通事項】

① 特別支援の必要な園児の保育について【住民福祉の向上の視点】

特別支援を要する園児の保育を担う役割は、公立の園に特に期待されている。加配保育士だけでなく、全職員が、関連知識及び情報を共有し、園全体でその保育を支える仕組みを作っていくこと。

② 外国にルーツを持つ園児への対応について【住民福祉の向上の視点】

日本語能力の不足によって特別支援を要するという結論に至ることのないよう、各園児の特性を注意深く見守ること。

③ 園児の怪我等の原因分析について【有効性の視点】

日本スポーツ振興センター共済給付手続を通じて、園児の怪我等の発生状況と原因を把握・分析し、施設設備の不備が原因であれば、再発防止のため、改善を図ること。また、

ヒヤリハットの記録についても、内容の分析に努め、事故防止につなげること。

④ 食物アレルギーのある園児への対応について【住民福祉の向上の視点】

食物アレルギーのある子どもの除去食について、引き続き、事故の起こらないように注意深く対応すること。

⑤ 子育て支援センターについて【住民福祉の向上の視点】

子育て支援センターにおいても、問題を抱えていると思われる子どもや家庭の存在を、プロの目で見えて気づき、適切な対応をすること。

⑥ 施設の整備について【住民福祉の向上の視点】

園の周辺を取り囲むフェンスの錆び、遊具や机、設備の色の剥げが目立つ。子どもが見て楽しい色使いにするといった対応を検討する等、より安全で良い保育環境にしていくための「気づき」を大切に、環境整備につなげること。簡易なペンキ塗装など、可能なものは園の職員で対応することも検討しつつ、保育幼稚園課への補修要望が必要なものについては強く要望していくこと。

⑦ 清掃管理について【住民福祉の向上の視点】

園の敷地内において、雑草や、特に樹木の多い園では枯葉がたまっているのが目に付く部分がある。こまめに処理すること。

⑧ ブランコの安全管理について【住民福祉の向上の視点】

ブランコの取扱いについて、園によって異なっている状況にある（座席部分が取り外してある、支柱にくくりつけてある、そのままの状態としている等）。子どもたちの安全のためにどうすべきか、市として統一したルールを定め、運用すること。

⑨ 予算の計画的な執行について【有効性の視点】

管理運営費の需用費の未執行金額が大きい場合がみられた。修繕が必要となった時のために残したものがそのまま残ったというようなことが考えられるとのことだが、できる限り具体的な見通しを立て、予算を有効活用すること。

⑩ 教材費の十分な活用について【住民福祉の向上の視点】

今までは、教材にかかる予算が十分でなく、折り紙等も、余った包装紙を切って代用したりと、手作りで対応することが多かったが、教材用の予算として、令和元年度より、教材費が設けられた。これを活用し、子どもの教育において必要なものにかかる予算は今後とも十分要求すること。

⑪ 事務処理のICT化について【効率性の視点】

保育日誌等の事務仕事のICT化は、業務の効率化、保育士の負担軽減につながる。若手職員の意見も聞き、早期の導入を保育幼稚園課に求めていること。

⑫ 新型コロナへの対応について【住民福祉の向上の視点】

新型コロナへの対応に特化したマニュアルはないとのことだが、情報や経験を積み上げて記録し、残していくこと。

⑬ クレーム対応について【住民福祉の向上の視点】

理不尽なクレームに対しては、職員を守るためにも、保育幼稚園課にも報告し、組織で共有して引き続き対応していくこと。

【羽津保育園】

⑭ 学びの一体化について【有効性の視点】

学びの一体化のため、羽津中学校の生徒が年2回、当保育園を訪れ、合唱や合奏といった演奏会を行っている。音楽が感性に与える影響は大きいと思われるので、できる限り継続していくこと。

【下野中央保育園】

⑮ 狭い園庭について【住民福祉の向上の視点】

園児数に比較して園庭が狭い。時間の割振りなどにより、園庭が混みあわないよう工夫されているが、引き続き、事故が起こらないよう十分な注意を払うこと。

こども未来部 幼稚園・こども園

第1 監査の概要

1 監査の種類 定期監査（財務監査・行政監査）

2 監査の対象

対象部局 こども未来部 幼稚園・こども園

対象年度 令和元年度

対象事項 財務事務等

3 監査の実施場所及び監査期間

実施場所 各幼稚園・こども園

監査期間 令和2年11月4日

4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

第2 監査対象の概要

・市立幼稚園・こども園23園のうち、次の6園の監査を行った。

泊山幼稚園、塩浜こども園、羽津幼稚園、笹川中央幼稚園、常磐中央幼稚園、下野幼稚園
（常磐中央幼稚園、下野幼稚園は、書面監査）

第3 監査の着眼点

1 想定されるリスクからの着眼点

事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。

(1) リスク評価チェックリストの検証

(2) 出先機関のリスク（マネジメントの目が行き届かない）

(3) 教職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

(4) 園の持続性に関するリスク

(5) 園内における園児の安全が十分にとられていないリスク

2 3E（経済性、有効性、効率性）・合規性等の視点からの着眼点

事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、有効性、効率性の視点等から設定した。

第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行に当たっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査の結果

(1) リスク評価チェックリストの検証

リスク評価調査においては、リスクの低い所属と考えていたが、事前調査の結果、財務会計事務などの事務一般において、一部不適切な事務が見受けられた。

リスク評価チェックリストの該当項目

(評点が4点以上又はリスクの発現が見られたもの：発現していた場合 ○)

チェック項目		想定されるリスク	評点	発現
所属の主要な事務事業	事業を行っているか	効果の少ない事業が実施されるリスク	4 / 4	
支出事務	歳出予算（報酬、給料、職員手当等及び共済費、恩給及び退職年金費、賃金を除く。）の執行を行っているか	不適切な金額での支出、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	2 / 2	○
現金管理	現金の取扱いがあるか	現金の紛失、数え間違い、処理遅れ、着服等のリスク	4 / 4	
財産管理	建物やインフラを所管しているか	保全不良のリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用されないリスク	4 / 4	○
情報管理	個人情報を取扱っているか	個人情報の漏えいや目的外使用、データの改ざん、滅失等のリスク	4 / 4	
組織・人員	多くの時間外勤務を行っているか	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク	4 / 4	○

(2) 出先機関のリスク（マネジメントの目が行き届かない）

- ・ 前年度監査時よりも不適切な事務処理についての指摘が増えているため、保育幼稚園課のチェックが行き届いていないのではないか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- × 消耗品等の納品後請求書を受領し、支出負担行為兼支出命令書を作成して保育幼稚園課に提出し、チェックを受けるが、誤りがあると幼稚園に戻り修正等のやりとりがあること

から支払遅延となる事例が見受けられた。

指 摘

【共通事項】

- ① 事務処理の基本的な部分で、いくつかの指摘事項が見受けられた。これらは、職員の業務上の知識不足や単純なミスに加えて、所属内でのチェック・牽制体制が不十分であったことに大きな要因がある。所属長は、定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させ、日常的に確認すべき事項を定型化し確認するなど牽制体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

【羽津幼稚園】

- ② 原課契約工事発注において、業者への見積依頼を行う際に、見積依頼書に見積依頼日を記載するとともに、業者から提出された見積書や請求書の代表者名や印鑑の押印漏れについて確認を行うなど、適切な会計事務に十分留意すること。

(3) 教職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

- ・ ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の教職員の働き方の改善がなされているか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

- × こども園の保育教諭の一部が年間360時間を超える時間外勤務を行っていた。保育教諭の健康の維持やワーク・ライフ・バランスの実現のため、引き続き勤務時間管理の適正化と保育教諭の意識改革を推進する必要がある。

意 見

【塩浜こども園】

行政需要の多様化等により、職員一人当たりの事務量が増加の一途をたどっていることから、職員の時間外勤務が恒常化しており時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務の原因を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスを充実するため、働きやすい環境づくりに取り組むとともに、業務の効率化を図るなど時間外勤務適正化に向けた取り組みを行うことで時間外勤務の縮減を図り、働き方改革への取り組みを進めること。

(4) 園の持続性に関するリスク

- ・ 少子化により今後ますます幼稚園に入園する園児が減少するのではないかと。
また、幼児教育・保育の無償化の影響により、私立幼稚園、保育園への流出があるのではないかと。こうした状況が続けば幼稚園の存続に関わるのではないかと。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

△ 園児の減少により4歳児と5歳児を合わせた混合クラスが年々増加している。市立幼稚園の維持、存続について検討が必要なのではないか。

意見

【共通事項】

園児の減少が続いており、入園申込者も減少し続けている。保育の現場では、保護者や職員が園の存続に対する不安を抱えながら保育が続けられている。また、あそび会へ参加する未就園児の保護者の質問や要望に対しても、説明することができないような状況にあるため、現場の声や保護者の要望が保育幼稚園課に理解されるよう努めること。

(5) 園内における園児の安全が十分にとられていないリスク

- ・ 園舎内や遊具等で、不具合がある状態で放置されているものはないか。

リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現）

△ 施設や遊具等に錆等不具合が見受けられた場合には、保育幼稚園課に施設整備の要望を行っている。

意見

【泊山幼稚園】

① 非常用の滑り台の塗装が剥げており、危険な箇所があるので修繕するとともに、傷んでいるタイヤなどは撤去すること。また、切株は子どもが怪我をすることがないように安全対策を施すこと。

【羽津幼稚園】【笹川中央幼稚園】

② 園庭周辺のフェンスのゆがみや樹木の根の張り出し、樹木の枝が遊具や電線に架かっていて危険と思われる箇所が見受けられたので、事故の発生しないよう対応を行うこと。

2 3 E（経済性、有効性、効率性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指摘

園施設や遊具の修繕等について【住民福祉の向上の視点】

【泊山幼稚園】

ア テラス付近にある階段の修繕を行っているが、既に剥がれてきており修繕が不十分である。適切な対応を行うこと。

【塩浜こども園】

イ 4歳児と共用の子ども用のトイレが2つあるうちの1つが壊れている。来年度にアセットマネジメントによる改修が予定されているとのことであるが、子どもたちにトイレを我慢させることのないよう早急に修繕すること。

【笹川中央幼稚園】

ウ ガス湯沸し器や園児の下駄箱の補修が未対応であるなど、職員や園児の安全のための対応が行われていない。事故発生防止の観点からも早急に対応すること。

意見

【共通事項】

① ブランコの安全管理について【住民福祉の向上の視点】

ブランコの取扱いについて、園によって異なっている状況にある。（座席部分が取り外してある、支柱にくくりつけてある、そのままの状態としている等。）子どもたちの安全のためにどうすべきか、市として統一したルールを定め、適用すること。

② 特別支援の必要な園児の保育について【住民福祉の向上の視点】

特別支援を必要とする園児が増えている園が多くあり、重度の子どもは公立にという流れができています。また、外国にルーツを持った特別支援を必要とする園児も増えてきています。そのため、いろいろな特性を持つ園児に対し、今後も市の担当部局やあけぼの学園、医療機関等関係機関と連携を取りながら、できるかぎり各々の事情に沿った保育を行うこと。

【泊山幼稚園】

③ 特別支援教育について【有効性の視点】

ア インクルーシブ教育を行う上で良い環境があるので、特別支援の子どもたちと健常者の子どもたちの教育バランスがとれるよう全職員が関わり対応すること。

イ にじ学園の巡回研修やこども発達支援課のSST（ソーシャルスキルトレーニング）教室などと連携した仕組みを活用して特別支援の子どもたちの教育に生かしていくこと。

④ 公立幼稚園の教育の特徴についての情報発信について【有効性の視点】

公立幼稚園の強みは、インクルーシブ教育の充実と人権を尊重した教育である。園児が減少していく中で、公立の園としてこうした取組みに力を入れていることを地域や保護者に見える形で発信すること。

⑤ 勤続年数の短い職員の支援について【有効性の視点】

当園での勤続年数が短い職員もいるので、保護者等とのコミュニケーションエラーが生じないように管理職が目配りすること。

【泊山幼稚園】【塩浜こども園】

⑥ 職員間の情報共有について【有効性の視点】

ヒヤリ・ハットや苦情対応に関する事例を職員で情報共有し、事故等の発生の未然防止や苦情対応に時間をとられることのないよう、できる限り日々子どもたちに目配りをしながら、同じことが起きないように、職員全員でしっかりと体制を整えること。

⑦ 園施設や遊具の修繕等について【住民福祉の向上の視点】

遊具の塗装の剥げている部分が見受けられた。緊急性はないものの、子どもたちの保育

環境としてきれいな色合いの遊具を提供することも大切であるので、修繕をすること。

【塩浜こども園】

⑧ 職員間の情報共有について【有効性の視点】

勤務形態の異なる職員間で、保護者との対応や子どもたちに関する引継ぎについて、連絡ノートに記入して情報共有しているとのことである。重要なことであるので、しっかりと記録をして情報共有を行うこと。

⑨ 蓄積されたノウハウの継承、活用について【有効性の視点】

幼保一体型の保育に関するノウハウの蓄積は、本市にとって大きな財産となっている。今後こども園化する園が増えていく中で、そうしたノウハウの蓄積を水平展開できるような仕組みづくりを当園が中心となって充実させることのできるよう尽力すること。

【羽津幼稚園】【笹川中央幼稚園】

⑩ ホールのエアコン設置について【住民福祉の向上の視点】

ホールにはエアコンの設置がなく、夏場は1階のエアコンで涼んでから水筒を持ち、ホールで運動会の練習をしていたとのことである。エアコンの設置について検討すること。